

2013 年 11 月 28 日 (木)

ちよだプラットフォームスクウェア 402 会議室

- ◆ 委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟（議長） 金子純代
事務：熊谷一樹 室橋紅里子 書記：中山遼平
- ◆ 出席者（順不同）：児玉萬平 田代和史 上松慮生 加藤文弥
- ◆ 開会 19:10

- ◆ 大学対抗マッチレース兼 U23 ユース大会 2014（田代）
 - ・ 大学に限定せずオープンエントリーが可能である。
 - ・ 11 月 27 日時点で、5 大学が招待受諾、5 チームからインビテーションリクエストがあった。ほか 3 チームが出場検討中。ただし運営の都合上、最大 12 チームの予定。
 - ・ JYMA から当委員会宛て、協賛の募集、練習会の開催、広報活動への協力依頼があり、できるだけ協力することで一致した。
 - ・ 練習会について、関東は J/24 関東フリート、関西はシエスタ坂本さん、アンパイア横山さんに協力を依頼している。1・2 月に開催できるよう準備を早急に行う。

- ◆ キールボートシリーズ 2014（金子）
 - ・ 葉山マリーヨットクラブのレース日程が決定した。現在、リビエラ湘南レースの日程待ち。日程が重なるレースに関して、併催を打診する予定。
 - ・ 江ノ島ノルウェーカップも担当者と協議している。
 - ・ 各団体の代表者による打ち合わせの機会を調整する。

- ◆ ジャパンカップ 2014（児玉）
 - ・ 8 月 11-15 日シーボニアでリビエラジャパンカップ 2014 を開催予定。
 - ・ 現在レース公示を作成中。大庭さん中心にレース運営を行う予定。
 - ・ コースはインショアレースに限定する予定。
 - ・ クラス分けの問題について検討中。

- ◆ JSAF 常任理事会の報告（児玉）
 - ・ 定期表彰はテックオータが特別栄光賞、アジアパシフィック学生カップ優勝の市川さんに優秀競技者賞、トランスバック 2 位の 2 チームにも優秀競技者賞を授与する方向で理事会が最終審議する予定。
 - ・ JSAF ホームページのタイムリーな更新及び使いやすい内容に改善する。
 - ・ J-Sailing の発行回数を減らすことを検討中。

- セーリング中の事故防止のための教育を検討中。
 - JSAF 保険委員会の復活が決定。JSAF メンバー保険が適用外の損傷・損害や、第三者賠償責任、ディンギー船体保険など効果的な保険を組めないか検討中。今後、保険会社に提案する予定。
 - メンバー保険より適用範囲が広く、任意加入であるセーラーズ保険の存在を周知していく。
- ◆ 日本財団助成金申請（中山）
- 10 月末にセーリングパーク事業の助成申請を行った。
 - 事前に日本財団の担当者との打ち合わせを行い、セーリングパーク構想の目標や理念については共感してもらえたが、計画の具体性に欠けるといふ指摘を頂いた。今後の課題となる。
- ◆ 海外レガッタ遠征状況
- 10 月チャイナカップに日本からターコイズチームが出場した。世界中からエントリーがあるアジア圏有数の大会であり、セーリングパークのアピールにも活用できないか。（中澤）
 - 11 月タイのキングスカップに日本から 7 チームがエントリーしている。ハーバーにチャーターボートがそろっていることの重要性を再認識した。（中澤）
 - 来年 1 月オーストラリアのウォーレンジョーンズユースレガッタの案内。アジアパシフィック学生カップ優勝の市川チームがインビテーションを受けて出場予定。
 - 来年 7 月イタリアのユニバーシアド大会に市川チームが出場の意志あり。
- ◆ その他報告事項
- 来年の JSAF 理事選挙の告知。（中澤）
 - JSAF 外洋総務委員会で、ネーションズカップなど国の代表として参加する大会へのエントリー費用の JSAF 支援を提案した。JSAF 外洋推進グループに関する報告。（中澤）
 - 来年 2 月 1-2 日に函館で外洋合同委員会会議が開催予定。当委員会からも参加を検討中。
 - 11 月に J/24 セーリングクリニックが葉山、油壺で開催された。講師としてノースセールアメリカのマイク・イングハム氏を招待し、非常に有意義だった。今後も様々な団体がセーリングクリニックを開催できるといいのではないか。（中澤）
 - 11 月西宮でメルジェスウィークが開催され、終止微風ではあったが無事終了した。（中澤）
 - 東京湾でレース中に落水による死亡事故があった。（児玉）
 - グアム近海でクルージング中に落水による死亡事故があった。（児玉）
 - 12 月委員会では来年度予算について審議予定です。
- ◆ 閉会 21:00
- ◆ 次回委員会の開催日：12 月 19 日（木）